

衆議院外務委員会ニュース

【第204回国会】令和3年4月23日（金）、第10回の委員会が開かれました。

- 1 ①日本国の自衛隊とインド軍隊との間における物品又は役務の相互の提供に関する日本国政府とインド共和国政府との間の協定の締結について承認を求めるの件（条約第3号）
 - ②民間航空の安全に関する日本国と欧州連合との間の協定の締結について承認を求めるの件（条約第4号）
- ・茂木外務大臣、中山防衛副大臣、大西防衛大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行い、質疑を終局しました。
 - ・①に対し、穀田恵二君（共産）が討論を行いました。
 - ・①について採決を行った結果、賛成多数をもって承認すべきものと決しました。（賛成—自民、公明、維新、国民 反対—立民、共産）
 - ・②について採決を行った結果、全会一致をもって承認すべきものと決しました。（賛成—自民、立民、公明、共産、維新、国民）
- （質疑者）尾身朝子君（自民）、佐藤茂樹君（公明）、青山大人君（立民）、重徳和彦君（立民）、穀田恵二君（共産）、浦野靖人君（維新）、山尾志桜里君（国民）

（質疑者及び主な質疑事項）

尾身朝子君（自民）

- (1) 日・EU航空安全協定関係
 - ア 本協定締結による我が国航空関連産業への影響
 - イ 検査及び監督の簡略化によって民間航空製品の安全性の確認の水準が低下するおそれの有無
- (2) 日印ACSA関係
 - ア 本協定締結の意義及びインドとの関係強化に向けた茂木外務大臣の決意
 - イ 本協定が適用される活動等の範囲
 - ウ 日印関係の重要性についての茂木外務大臣の認識

佐藤茂樹君（公明）

- (1) 気候変動サミット（4月22日）において我が国の2030年度の温室効果ガスを従来の13年度比26%削減から46%に大幅に削減する菅総理の方針表明に対する茂木外務大臣の認識
- (2) 日印ACSA関係
 - ア 提供される物品に弾薬が含まれていない理由
 - イ 自衛隊からACSA未締結国の軍隊に対して提供された物品の決済手続
 - ウ インド領アンダマン・ニコバル諸島に我が国が開発援助をするに至った経緯、支援の内容及び日印関係における意義
- (3) 日・EU航空安全協定締結による我が国及びEUそれぞれにとっての意義及びメリット

青山大人君（立民）

- (1) 福島第一原子力発電所事故に伴う各国による日本産農林水産品の輸入規制の撤廃に向けてRCEP協定を活用した今後の取組についての政府の見解
- (2) 対馬丸記念館
 - ア 対馬丸記念館への茂木外務大臣のこれまでの訪問の有無
 - イ 対馬丸事件に対する茂木外務大臣の思い

- ウ 対馬丸記念館及び対馬丸事件についての政府の広報及び周知の対応
- (3) 樺太関連の資料の公的保存
 - ア 内閣府が樺太及び北方領土をテーマにした戦争関係資料室を設けることの可否
 - イ 総務省委託の平和祈念展示資料館の一部を樺太関連の資料の保管場所として活用することの可否
 - ウ 昭和館の一部を樺太関連の資料の保管場所として活用することの可否
 - エ 樺太関連の資料の公的保存についての茂木外務大臣の見解
- (4) 日印ACSA関係
 - ア 我が国の同盟国ではないインドとACSAを締結する意義
 - イ 日本語が正文とされていない理由
- (5) 日・EU航空安全協定が国会承認条約の扱いとなった理由
- (6) 駐タイ大使がナイトクラブを訪れて新型コロナウイルスに感染したことに対する外務省の対応

重徳和彦君（立民）

- (1) 日印ACSA関係
 - ア 第2回日印外務・防衛閣僚会合（「2+2」）において議論される内容
 - イ 本協定締結の背景
 - ウ これまでの日印関係及び今後の日印関係に対する茂木外務大臣の見解
 - エ 国境問題を抱える中印関係に対する茂木外務大臣の見解
- (2) 台湾関係
 - ア 与那国沿岸監視隊における中国艦艇の監視状況及び海上保安庁、海上自衛隊等との連携の状況
 - イ 台湾と我が国が同時にサイバー攻撃を受けた場合の連携体制の現状
 - ウ 米国の台湾との情報共有体制
 - エ 台湾との情報共有体制を整える必要性
 - オ 日米首脳共同声明（4月16日）の「自らの防衛力を強化する」の意味

穀田恵二君（共産）

- (1) 日印ACSA締結と特別戦略的グローバル・パートナーシップとの関係
- (2) 沖縄県における在日米軍基地及び自衛隊基地関係
 - ア 米国海兵沿岸連隊の沖縄への配備する計画について米国からの打診の有無
 - イ 当該配備計画に対する政府の認識
 - ウ 当該配備計画と台湾有事を想定した米国の新たな部隊配置との関係性
 - エ 2015年における南西諸島地域での陸上自衛隊の部隊配置計画に関する内容
 - オ 中距離ミサイルを沖縄本島へ配備する将来的な可能性に関する茂木外務大臣の見解

浦野靖人君（維新）

- (1) 日印ACSA関係
 - ア 本協定締結の意義及び必要性
 - イ 本協定締結が中国や北朝鮮を刺激する可能性
 - ウ 我が国の今後のACSA締結方針
 - エ 輸送の対象となる物資及び核兵器輸送の可否
 - オ 重要影響事態等における活動が第1条1eの「その他の活動」として規定されることによって、自衛隊による物品・役務の提供範囲が無制限に拡大するのではないかとの懸念に対する外務省の見解

- (2) 在日米軍と自衛隊による施設・区域の共同使用についての政府の見解
- (3) 日・EU航空安全協定関係
 - ア 本協定の締結によって民間航空製品の安全性が低下するおそれの有無
 - イ 我が国から国産ジェット旅客機の輸出の見通しが立たない中で今後の我が国の航空安全協定の締結方針
 - ウ 本協定の署名と同時に整備分野の附属書が作成されなかった理由

山尾志桜里君（国民）

- (1) 債務の罨
 - ア 債務の罨という問題が存在しているとの認識の有無
 - イ 国際社会の中で中国の途上国向けの融資が債務の罨を巻き起こしているとの懸念の有無
 - ウ 「質の高いインフラ投資に関するG20原則」が順守されているかのチェック状況
 - エ 我が国の島嶼国に対する経済的サポートの状況
- (2) インド領アンダマン・ニコバル諸島の地政学的重要性
- (3) ビジネスと人権に関する国際的なルール作りを我が国が主導するとともに、我が国の考え方や取組を英語や中国語で発信する必要性
- (4) ジェノサイドや民族浄化を認めないという価値判断を相対化することの是非
- (5) 我が国のジェノサイド条約加入に向けた障害の有無

- 2 所得に対する租税に関する二重課税の除去並びに脱税及び租税回避の防止のための日本国とセルビア共和国との間の条約の締結について承認を求めるの件（条約第5号）
所得に対する租税に関する二重課税の除去並びに脱税及び租税回避の防止のための日本国とジョージアとの間の条約の締結について承認を求めるの件（条約第6号）
投資の自由化、促進及び保護に関する日本国とジョージアとの間の協定の締結について承認を求めるの件（条約第7号）
日本国における経済協力開発機構の特権及び免除に関する日本国政府と経済協力開発機構との間の協定の規定の適用範囲に関する交換公文を改正する交換公文の締結について承認を求めるの件（条約第11号）
・茂木外務大臣から趣旨の説明を聴取しました。